



理事長 関 良

法人理念
利用者の命を守る
利用者にハピネスを
スマイル

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、多くの方々よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「平成」も今年で終わり新しい時代が始まろうとしております。「平成」を振り返りますと「平成4年」に法人認可をいただき、翌年4月1日に「ゆきわり荘」が精神薄弱者更生施設として開設いたしました。利用者と家族の思いに寄り添い、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら、役職員が一丸となって邁進して参りました。その後、国の大改革であります平成12年4月に施行されました社会福祉基礎構造改革の「個人が尊厳を持ってその人らしい自立した生活が送れるよう支える」という理念のもと施設入所よりグループホームへの移行等、積極的に事業展開を図って参りました。又、本県の課題でもあります「人口減少対策」として「雇用の場の確保」と、「子育て支援対策」として「隠れ待機児童の解消」に取り組み、生涯いきいきとして働き、安心して子育てができる環境づくりに努めて参りました。具体的な取り組みとしては以下の通りです。

第一に、新青森駅周辺を拠点とした東京都民及び関東近県の重度の障害者を対象とした「共同生活援助はやぶさ」の開設（現在19ヶ所（定員170名）から21ヶ所（定員190名）へグループホーム増所予定）、「生活介護事業所ねぶた（定員60名）」、「生活介護事業所しんあおもり（定員40名）」の他、今後数年かけて300名規模の定員と雇用の場の確保として新規採用100名超を見込んでおります。第二に、新城保育園について、今年度4月に「幼保連携型認定こども園SHINJO」へ移行し、定員も現在の70名から105名に増員の予定です。併せて現在改築をすすめており、新しい園舎で新年度をスタートします。また、送迎バスも準備し、地域で安心して子育てができる環境づくりをサポートする体制を進めております。第三に、高齢者福祉施策について、将来、高齢者が「生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり」を、新青森駅周辺を拠点とした石江地区において東京都民、関東近県の高齢者の受け入れについても体制整備について検討していきたいと考えております。

いずれにしても、第一から第三まで掲げた事業展開につきましては、地域の皆様、関係者の皆様のご理解ご協力が不可欠であり、社会貢献活動により地域に還元するとともに、引き続き「人材育成と定着」に重点をおき、研修の充実と職員が安心して働ける環境づくり、国が掲げる「働き方改革」のより一層の推進を行います。

今後とも地域の様々な福祉ニーズに柔軟且つ迅速に対応し、社会福祉法人として期待される役割を果たすよう努めるとともに、その趣旨にしっかりと取り組んで参ります。これからもなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安全祈願祭



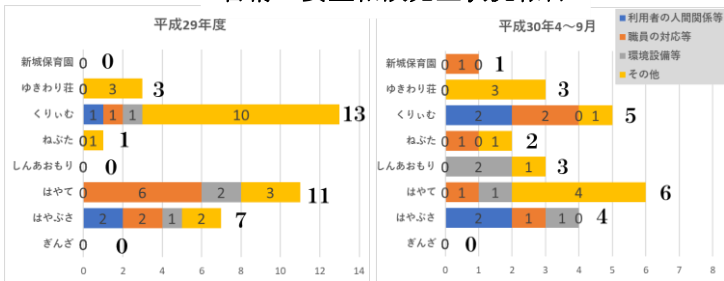
今年9月25日に新城保育園の安全祈願祭が行われました。来年度より幼保連携型認定こども園SHINJOへと移行すべく、現在改築工事が行われています。

そして、12月5日にはグループホーム「とんぼ・ちょうちょ」2棟の安全祈願祭が行われました。共に平成31年3月下旬完成予定です。



青森明の星短期大学で授業を行いながら、ゆきわり会で職員研修当している丸本富勝です。ゆきわり会では、たくさんの事業所が増えたことに伴い職員数も急増しています。採用されると、①法人の理念、②職業人としてのマナー、③障害特性や理解に基づいた支援のあり方、④記録について、⑤障害者虐待防止、⑥感染症の理解及び食中毒の理解、⑦コミュニケーションなど支援に必要な基礎的な研修を実施して、現場で適切な支援ができるようにしています。

苦情・要望相談発生状況報告



平成29年度及び平成30年度9月までに発生した苦情・要望相談に対し、迅速・適切な対応を行い、未解決のものや現在も継続中のものは0件でした。今後も真摯な対応で応えていきたいと思ひます。

役員等視察研修に行ってきました。

今回伺った研修先は、北海道函館市にある認定根崎こども園です。新城保育園の幼保連携型認定こども園SHINJOへの移行の参考にさせて頂く為に訪問しました。



まず始めに目を引いたのは広い園庭。全面が芝生で覆われていました。お子様の筋力向上や怪我がしにくいという長所がある反面、手入れが大変だとか。



建物内は柏崎園長が懇切丁寧に建物を案内して頂きました。安全や衛生面に配慮し、人工呼吸器やエコムシューという真空パック器が設置されていたり、床についても強いこだわりがあり、土台とフローリングの間に隙間を作ることでのクッションとなり、お子様が転んでも怪我をしづらくなるとの事でした。

質疑応答の時間では、運営に関する事や幼保連携型認定こども園へ移行する際の注意点など今の私達が求めていることを詳しく聞く事ができ、非常に有意義な研修をさせて頂きました。

今回学ばせて頂いたことを活かし、幼保連携型認定こども園SHINJOのより良いサービス、環境づくりを行い、安心して子育てができる体制整備を行っていききたいと思います。



人事



ねぶた園長
↓
副総合施設長
関 裕恵子



はやぶさ副園長
↓
はやぶさ副園長兼
サービス管理責任者
西巻 悟志



ねぶた副園長
↓
ねぶた園長
小野 久美子



はやぶさサービス主任兼サービス
管理責任者兼生活支援員
↓
はやぶさサービス課長
兼サービス管理責任者
新山 有紀